

主催者あいさつ

岐阜県教育委員会

教育長 松川 禮子

全国各地から多数の皆様方のご参加を得て、本日ここに第53回全国学校体育研究大会岐阜大会を盛大に開催できますことは、喜ばしい限りであり、ご参会の皆様方に心からお礼を申し上げます。また、功労者表彰、優良校表彰を受けられます皆様方におかれましては、そのご功績に対し、心から敬意を表しますとともに、お祝いを申し上げます。

さて、学校における体育の授業は、全ての子供たちが運動やスポーツに親しむ時間であり、その楽しさや爽快感、達成感を味わうことができる絶好の機会でもあります。また、体育の授業で育まれる健康体力は、生きる力の大きな柱であり、次代を担う子供たちが、活力ある生活を送る礎となるものです。

一方、子供の体力は、低下傾向に歯止めがかかりつつあるものの、近年、積極的に運動する子供とそうでない子供の二極化が顕著となり、運動習慣が身に付いてない子供に対する支援の充実が課題となっています。

こうした中、本県では今年3月に第二次岐阜県教育ビジョンを策定し、幼児期運動指針に基づいた教材の開発により、幼稚園教諭等の指導力の向上を図ることや、ぎふ清流国体で活躍したトップアスリートや指導者を体育授業や学校行事に派遣して児童生徒のスポーツへの関心や意欲を高めること等を具体的な施策として示したところです。

本大会では、「生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む資質や能力を育てる体育授業」をテーマに幼児、児童生徒が遊びや運動に親しむ中で体育・保健体育における技能、態度、知識、思考・判断の指導内容が確実に身に付くよう各校種間で互いに連携を図り、研究を進めて参りました。

本大会を通じて、ご参加の皆様方が活発に意見を交わされ、今後の学校体育の充実に活かしていくことを心から願っております。

おわりに、本大会を開催するにあたり、多大なご尽力を賜りました関係者の皆様方に深く敬意を表しますとともに、ご参加いただきました皆様方のご健勝とご活躍をお祈りしてご挨拶いたします。

(代読) 岐阜県教育委員会教育次長 南谷 清司